

第11回
熊本県

医療・保健・福祉連携学会

くまもとの医療・保健・福祉のネットワーク



～在宅医療を支える多職種連携～

開催日 平成30年2月24日(土) 13:00～18:30

会場 熊本県医師会館 TEL096-354-3838 熊本中央区花畑町1番13号

大会長 福田 稠 (熊本県医療・保健・福祉団体協議会会長 / 熊本県医師会会長)

プログラム

受付	12:00～
開会式	13:00～13:15
基調講演 (地域医療連携部会)	13:15～14:35 老いても病んでも地域で暮らし続けるために ～地域を一つの“バーチャル病院”とらえる～ あおぞら診療所 院長 川越 正平 先生
休憩	14:35～14:50
分科会1	14:50～16:00 ①医療技術連携部会 「現状の在宅の取り組みと多職種連携をどうつなげるか」 ②居宅支援連携部会・介護サービス連携部会 「在宅生活を支える専門職の役割」
休憩	16:00～16:10
分科会2	16:10～17:20 ①地域リハビリテーション連携部会 「在宅医療を支える専門職種の取り組み」 ②プライマリ・ケア連携部会 「慢性期から終末期の実情と課題」
休憩	17:20～17:30
市民公開講座	17:30～18:30 「“長寿で輝く”くまもと」の実現に向けて 熊本県健康福祉部長寿社会局 局長 福田 充 氏
閉会式	18:30～

参加費

会員 2,000円
非会員 4,000円 ※会員は熊本県医療・保健・福祉団体協議会構成団体会員。
学生 1,000円 ※非会員は構成団体会員以外の方です。
※当日受付にて、おつりのないようご協力ください。
◎市民公開講座はどなたでも無料で参加できます。

懇親会

大会終了後、19:00より懇親会を予定しております。
会場：熊本ホテルキャスル 11階「トゥールドシャトー」 会費：6,000円

申し込み

会員は各所属団体事務局へお申し込みください。
非会員は「第11回 熊本県医療・保健・福祉連携学会事務局」(熊本県医師会内)まで。
TEL096-354-3838 FAX096-355-6507
締切り：平成30年2月16日(金)まで

注意事項

◎当日、会場の駐車場はご利用できませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

〈交通アクセス〉
●熊本市電 熊本城・市役所前 下車(徒歩2分)
●バス 市役所前 下車(徒歩2分)

お問い合わせ

「第11回 熊本県医療・保健・福祉連携学会事務局」(熊本県医師会内)
TEL096-354-3838 (担当：柴田・渡辺)

熊本県医療・保健・福祉団体協議会構成団体

熊本県医師会・熊本県歯科医師会・熊本県薬剤師会・熊本県看護協会・熊本県老人保健施設協会・熊本県老人福祉施設協議会・熊本県助産師会・熊本県栄養士会・熊本県放射線技師会・熊本県臨床検査技師会・熊本県歯科衛生士会・熊本県理学療法士協会・熊本県作業療法士会・熊本県医療ソーシャルワーカー協会・熊本県歯科技工士会・熊本県臨床工学士会・熊本県言語聴覚士会・熊本県介護福祉士会・熊本県社会福祉士会・熊本県介護支援専門員協会・熊本県精神保健福祉士協会 (順不同)

主催 熊本県医療・保健・福祉団体協議会 共催 熊本地域リハビリテーション支援協議会 後援 熊本県、熊本市、熊本日日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社熊本支局、読売新聞西部本社、西日本新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、熊本朝日放送、くまもと県民テレビ、エフエム熊本、FM791

医療技術連携部会

現状の在宅の取り組みと多職種連携をどうつなげるか

「地域包括ケアシステムにおける訪問歯科診療」

平井 淳也（熊本県歯科医師会）

「おくすり手帳を利用した多職種連携ツール

「医療と介護の連携シート」～熊本市の3学区での取り組み～」

三淵 博史（熊本県薬剤師会）

「在宅における多職種連携での栄養指導の介入について」

福島 貴子（熊本県栄養士会）

「移動型装置による院外施設での出張胸部X線撮影の実際」

緒方 隆昭（熊本県放射線技師会）

「在宅医療における臨床検査技師の可能性 ～下肢静脈エコー遠隔診断を経験して～」

福重 翔太（熊本県臨床検査技師会）

「人間が立ってバランスを取るしくみ」

池上 和宏（熊本県歯科技工士会）

「在宅血液透析での多職種連携について～臨床工学技士の立場から～」

平田 孝志（熊本県臨床工学技士会）

「クライアントの地域生活を支えるソーシャルワーク～障がいのある方への就労支援の現場から～」
永野 明子（熊本県社会福祉士会）

「居宅支援団体との連携の重要性について」

橋場 紀仁（益城町区長会長）

地域リハビリテーション連携部会

在宅医療を支える専門職種の取り組み

「認知症初期集中支援チームの活動報告」

新保 祐輝（熊本県老人福祉施設協議会）

「在宅医療における歯科衛生士の役割」

藤原 裕美（熊本県歯科衛生士会）

「知られているようで、まだまだ知られてない訪問リハビリテーション」

四海 公貴（熊本県理学療法士協会）

「生活行為向上マネジメント（MTDLP）と地域作業療法」

藤木 昭彦（熊本県作業療法士会）

「在宅医療を支える言語聴覚士の取り組み」

小田原 守（熊本県言語聴覚士会）

「地域移行支援における医療と地域の連携について」

崎山 徹（熊本県精神保健福祉士協会）

居宅支援連携部会・介護サービス連携部会

在宅生活を支える専門職の役割

「地域包括ケアシステムと専門職の役割」

松尾 亮爾（熊本県健康福祉部長寿社会局認知症対策・地域ケア推進課）

「熊本県助産師会が行う養育支援家庭訪問事業より、地域連携支援を考える」

加治美由起（熊本県助産師会）

「在宅生活を支える専門職の役割

一住み慣れた地域で暮らし続けられるために 訪問介護の立場から」

小山 睦子（熊本県介護福祉士会）

プライマリ・ケア連携部会

慢性期から終末期の実情と課題

「本人の希望で在宅看取りを行ったケース」

北川美恵子（球磨郡医師会居宅介護事業所）

「終末期に関わるチーム連携について」

西村 洋子（訪問看護ステーションわかば）

「自分らしく最期を迎えるために～急性期病院の課題と取り組み～」

具嶋 泰弘（済生会熊本病院）

「看取りの時期に望まれる医療とは？」

後藤 慶次（ひまわり在宅クリニック）

第11回熊本県医療・保健・福祉連携学会は、以下の団体の協賛、協力をいただいております

〔協賛団体〕 熊本大学、公立大学法人熊本県立大学、熊本学園大学、九州ルーテル学院大学、熊本保健科学大学、九州看護福祉大学、崇城大学、中九州短期大学、有明高等学校、玉名女子高等学校、熊本総合医療リハビリテーション学院、九州中央リハビリテーション学院、メディカル・カレッジ青照館、熊本駅前看護リハビリテーション学院、熊本社会福祉専門学校、専修学校熊本YMC A学院、熊本市医師会看護専門学校、熊本看護専門学校、NHO熊本医療センター附属看護学校、上天草看護専門学校、独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災看護専門学校、八代看護学校、天草市立本渡看護専門学校、熊本歯科衛生士専門学校、熊本歯科技術専門学校、一般社団法人熊本全日病、一般社団法人熊本県医療法人協会、日本病院会熊本県支部、公益社団法人熊本県精神科協会、熊本県高次脳機能障害検討委員会、社会福祉法人熊本県社会福祉協議会、社会福祉法人熊本市社会福祉協議会、熊本県民生委員児童委員協議会、公益社団法人熊本県老人クラブ連合会、熊本市老人クラブ連合会

（順不同）

〔協力〕 一般財団法人 熊本県ろう者福祉協会

熊本県医療・保健・福祉連携学会学術単位

〔熊本県医師会〕 ◎日本医師会生涯教育講座4単位（取得カリキュラムコード）基調講演：80在宅医療1単位 医療技術連携部会、居宅支援・介護サービス連携部会：10チーム医療1単位 地域リハビリテーション連携部会、プライマリ・ケア連携部会：13医療と介護および福祉の連携1単位 市民公開講座：12地域医療1単位 〔熊本県歯科医師会〕 ◎日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会（研修コード：2402 全身疾患と歯科診療1単位、2906 高齢者の歯科処置2単位、2907 訪問診療2単位） 〔熊本県薬剤師会〕 ◎基調講演、医療技術連携部会：日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度2単位 〔熊本県栄養士会〕 ◎日本栄養士会生涯教育1単位 〔熊本県放射線技師会〕 ◎公益社団法人日本診療放射線技師会 生涯教育カウン5単位 〔熊本県歯科衛生士会〕 ◎地域リハビリテーション連携部会：日本歯科衛生士会生涯研修2単位 〔熊本県理学療法士協会〕 ◎社会指定事業 地域包括ケア推進リーダー及び介護予防推進リーダー履修要件研修 〔熊本県作業療法士会〕 ◎日本作業療法士協会生涯教育基礎コース1ポイント 〔熊本県社会福祉士会〕 ◎日本社会福祉士会生涯研修制度 制度研修5.5時間 〔日本プライマリ・ケア連合学会〕 ◎専門医・認定医更新のための単位4.5単位 ◎プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位3単位

参加申込み

参加申込先（ ） FAX - -

参加者氏名	職種名	所属団体名	懇親会 （○をお付けください）
			参加 不参加
施設名			
住所	〒	TEL (- -)	

※熊本県医療・保健・福祉団体協議会構成団体に所属の方は、所属団体名のご記入をお願いします。
当日の受付は各所属団体で行います。

申し込みは平成30年2月16日(金)までをお願いします。